

電力技術研究会専門部会シリーズ①

電気利用専門部会

電気利用専門部会は、昭和42年4月に電気応用専門部会として発足し、平成4年6月に現在の名称になりました。メンバーは、エネルギー応用研究所お客さま技術グループ杉山主査のもと大学関係委員3名、企業関係委員1名に当社関係箇所の課長他8名を加えた13名です。その活動内容は、お客さまの側にたった新たな電気エネルギー利用拡大のための技術開発についての調査研究と情報交換です。

12月21日の第60回部会では、当社からの委託研究「エアコンを用いた夏期の室温調整能力に関する高齢



社外委員の紹介
前列左より、大野、菊山、一人おいて大熊の各専門委員

者と若年者の比較（相山女学園大学：大野委員）に対し、菊山委員から「リモコンの操作性が室温調整行為の年齢差に影響がある」、大熊委員から「電気利用の対象は人間であり、人間と機械とのトータルシステムは、人間をいかにモデル化するかが重要である」などのご意見を頂きました。また、新たなテーマである「ヒートポンプ冷温水空調システム（三菱電機：土井委員）の特長、開発課題等の紹介があり、活発な議論が交わされました。

これからも電気利用部門の産学連携を一層強固にし研究に役立つことが期待されます。



会議風景

ナゴヤドームで「ファインセラミックフェア2002」開催

平成14年2月21日（木）～23日（土）にかけて、（財）ファインセラミックスセンターと中日新聞社主催の「ファインセラミックフェア2002」が開催されました。

このフェアは、セラミックスに関する先端技術と応用分野について一堂に展示紹介し、産業界への啓発と情報交換の場を通じた産業振興を目的として一年おきに開催されているもので、第16回目となります。今回は、セラミックスの製造技術・装置を主体とする展示会「セラムジャパン2002」と同時開催となり、「セラミックス新たな飛躍へ - 環境・IT・福祉」をテーマ

にナゴヤドームにおいて盛大に開催されました。

中部電力からの出展は、電力技術革新に貢献するファインセラミックスについて超電導材料分野および燃料電池分野での研究状況を紹介いたしました。

3日間で延べ4万8千人が入場し、超電導バルク体の特性や電力貯蔵システムのしくみについての紹介には、黒山の人だかりができていました。



フェアの様子